

電子号外

なでしこ準優勝

女子サッカー
W杯

米国に2-5



サッカー女子W杯決勝で米国に敗れ、佐々木監督のねぎらいを受ける澤 (10) = 5日、バンクーバー



日本-米国 前半、ゴールを決める大儀見ハ
ンクーバー

【バンクーバー(カナダ)共同】サッカーの女子日本代表「なでしこジャパン」は5日、カナダのバンクーバーで行われた女子ワールドカップ(W杯)決勝で米国に2-5で敗れ、2大会連続2度目の優勝はならなかった。米国は4大会ぶり、史上最多3度目の頂点に立った。

日本は今大会、主将の宮間あや(岡山湯郷)を中心に一戦ごとにチームの結束を強めた。2008年から率いる佐々木則夫監督の手腕も光り、準決勝までの6試合を全て1

点差で制す勝負強さを発揮。前回覇者の重圧をはねのけて勝ち上がったが、最後は11年の前回大会、12年のロンドン五輪の決勝でも戦った宿敵に屈した。

日本、守備が崩壊

▽決勝

米 国 5 (4-1) 2 日 本

▽得点者【米】ロイド3(前3、5、16分)ホリデー(前14分)ヒース(後9分)【日】大儀見(前27分)OG(後7分)

▽観衆 53341人 (米国は4大会ぶり3度目の優勝)

【評】日本は5失点と守備が崩壊した。前半16分までに4点を失った。3分と5分にセットプレーから連続失点。これで浮足立ち、14分と16分にも加点された。米国の猛攻に対応できず、ロイドには3点を奪われた。

0-4の前半27分に、大儀見が1点を返した。後半もオウンゴールで2点差に追い上げたが、その後の失点で反撃ムードがしばらく続いた。